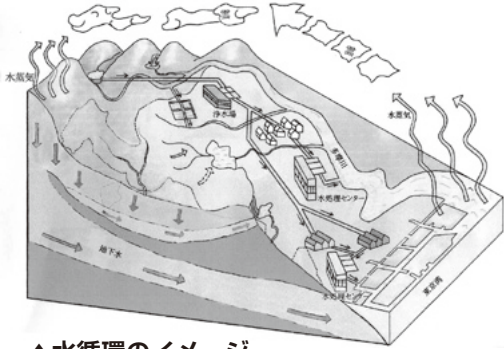


水循環の現状と課題

雨水が地下に浸透し、湧水となって地表に表れ、川となって海に注ぎ、水蒸気となってまた雨になる一連の流れを「水循環」と言います。

近年では都市化の進展などで雨水の地下浸透が減少し、平常時の河川の流量が減少するなど、水循環のバランスが崩れてきています。



▲水循環のイメージ



ロップ君

ロップ君は葉っぱから落ちた一粒の滴（ドロップ）から誕生しました。川や海の「水」をきれいにすることの大切さをみんなに伝える活動をしています。

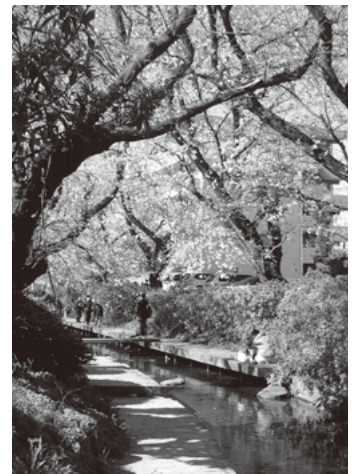
良好な水環境に向けて

市では、水環境を守るため「川崎市水環境保全計画」を策定しています。

計画では、良好な水環境像を「人と水のつながりが回復され、市民がやすらぎ、安心できる水環境」とし、水環境を構成する「水量」、「水質」、「水生生物」、「水辺地」の4つの要素ごとに目標や指標を定め、様々な施策を推進しています。

市内にはみなさんが水と触れ合い、水環境についての関心や理解を醸成していただくことができる、親水性の高い水辺地が整備されています。

また、水質の測定結果や生物調査の結果などは、市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



川崎市 水環境情報

検索

問い合わせ：環境局水質環境課 TEL 200-2520 FAX 200-3922



「川崎市環境影響評価審議会」の市民委員を募集します

- **公募人数**：2人
- **任期**：令和2年12月1日から令和4年11月30日まで（2年間）
- **申込資格**：令和2年12月1日時点で1年以上市内在住の20歳以上（市職員、市附属機関等の委員は除く。）
※なお、申込資格につきましては、選考時にお住いの区役所へ確認させていただきます。ご承知いただける方のみお申し込みください。
- **申込方法**：申し込む附属機関の名称（川崎市環境影響評価審議会）、住所、氏名、電話番号、性別、生年月日、現在の職業、主な職歴、各種団体での活動や市政モニター等の活動経験、審議会委員を希望する理由（簡潔に）をA4縦の用紙に明記し、小論文「環境影響評価制度について考えること」（A4縦・横書き800字程度）とともに、郵送又は持参によりお申し込みください。
※申し込み書類は返却いたしません。
- **選考方法・発表**：選考は、書類選考及び面接により行い、結果は、お申込をされた方にお知らせします。
- **申込締切日**：令和2年8月31日（月）（消印有効）

市のホームページからも
申し込みできます。



申し込み・問い合わせ：環境局環境評価室 〒210-8577（住所不要） TEL200-2156